

建設の施工企画

2007年5月号 No. 687

目次

ダムの施工技術 特集

3	グラビヤ	・長井ダム堤体打設状況 ・徳山ダム堤体盛立状況	
5	巻頭言	治水事業の進展と機械化施工	横塚 尚志
6		ダムに関する最新技術の動向	川崎 秀明
19		滝沢ダムの原石採取と骨材生産	向居 忠昭・桑原 啓一
25		コンクリートダム施工の合理化と情報化 —長井ダム施工について—	三浦 健二
31		徳山ダム—堤体盛立工事（ロックフィルダム）	土屋 任史・川地 悟
37		ダム施工における情報化施工	植木 睦央
42		インド国プルリア揚水発電所 上ダム河流処理の設計と施工	高木 慎悟・浅井 隆治
49		大松川ダム—グラウト工事（コンクリートダム） —新第三紀層を基礎岩盤とし、地下水構造に着目した止水設計—	田口 郁夫
55		既設ダムを有効利用した新丸山ダム嵩上げ計画 —既設ダムの機能を維持した施工計画—	平光 文男
61		大保ダムにおける環境保全対策	杉田 泰俊
67	交流の広場	水理構造物の振動事例	巻幡 敏秋
71	交流の広場	はるかな尾瀬（その2）—尾瀬の自然と環境保全—	鈴木 實
76	ずいそう	インドの国民車「アンバサダー」	近藤 滋
78	ずいそう	冬に想う	堅田 豊
79	連載	土木技術者評伝 嘉南大圳設計者 八田與一技師（7） —台湾で愛され日本人に知られていない偉大な土木技術者—	川本 正之
83	CMI 報告	ミニショベルの転倒事故防止	西ヶ谷 忠明
86	新工法紹介	2007年2月	広報部会
89	新機種紹介	2007年3月	広報部会
93	統計	建設工事受注額・建設機械受注額の推移	96 編集後記 (平子, 吉村)

◇表紙写真説明◇

湛水直前の徳山ダム（2006/9）

写真提供 熊谷・大成・青木特定建設工事共同企業体

徳山ダムは(独)水資源機構が岐阜県揖斐郡揖斐川町の本曾川水系揖斐川最上流部に建設中の多目的ダム。堤高161m、堤頂長

427.1m、堤体積1,370万m³の土質遮水壁型ロックフィルダムで、総貯水容量約6億6,000万m³は我が国最大。平成16年度の年間総盛立量約620万m³は、奈良俣ダムの記録(約470万m³)を抜いて国内最高記録を樹立。フィルタ材は徳山ダム下流の横山ダム(国土交通省)の堆砂砂礫を主な原材料として用いる画期的な連携事業を実施。平成17年11月に盛立を完了し、平成18年9月より試験湛水を開始。平成19年4月末現在、総貯水量に対して約30%を貯留。